

平成24年

浦添市成人式

1月8日(日)、浦添市でだこホールにて平成24年浦添市成人式が行われました。浦添市の新成人は平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた1245人です。



式典当日は、赤やピンクの華やかな振袖や、お揃いのかまを身にまとった新成人が、友人との久々の再会で近況を報告したり、記念撮影をしたりする姿が見られました。また、会場となっただこホールの外では、鼓衆若太陽やゆいゆいキッズシアター、城間旗頭などが演舞をし、会場を盛り上げました。

オーブニングセレモニーでは、新成人を中心とした成人式企画運営委員による「思い出のアルバムフォトムービー」が上映されました。スクリーンに母校の様子が映し出されると、会場からは大きな歓声や拍手が上がり、次々と映し出される懐かしい光景に新成人は終始見入っていました。

お祝いの言葉として、儀間市長は「20歳を迎えると権利



と義務が生じ、モラルが求められます。責任ある行動を心がけ、何事にも積極的に挑戦してください。それに皆さんは多くの方に支えられて20歳を迎えたことと思います。家族に感謝の気持ちを是非伝えてください」と、新成人へエールを送りました。



新成人の声

浦西中学校出身の皆さん「大人としての責任を持って頑張ります!!」



仲西中学校出身の皆さん「俺が社会を変える!」



高校の同級生「輝く大人になりたい!」



JICA青年海外協力隊 派遣出発インタビュー



青年海外協力隊派遣 曾田夏記さん



浦添市在住(東京都出身)の曾田夏記さんが、青年海外協力隊として、今年1月から2年間フィリピン共和国に派遣されました。現地ではコミュニケーションの中心メンバーに対する各種研修の企画実践等の活動や障害者支援に関わる様々な関係者とのネットワーク作りに取り組みします。

Q JICAボランティアに応募したきっかけは? 20歳の時に足に障がいを負ったことをきっかけに、途上国の障がい者支援に貢献できる人になりたいと考えたようになり、私には、現在JICA職員として働いていますが、実際に途上国を自分の目で見て、活動に取り組んだ方がいいのではないかと考えるようになり、休職してボランティア活動に参加することを決めました。

Q 現在の心境と抱負をお願いします 障がいを負った当時は悲観的になっていましたが、今は途上国の障がい者支援をするという目標ができ、希望を持っています。障がいがある子ども達に、私がフィリピンで海外協力隊として頑張っている姿を見せることで、「障がいがあっても多くの可能性がある」ということを伝え、サポートができれば良いと思います。

Q 現地での活動において目標はありますか? 現在の職場では、「障がいがあっても働ける」という自信と喜びをもちました。それをフィリピンの障がいのある方々にも伝えたいです。障がい者支援というのは息の長い取組です。私の派遣期間は2年間と決められていますが、私が帰った後にも継続して現地の人が活動に取り組めるよう、焦らずに障がい者支援という長い道のりの土台作りをしたいです。

平成23年度浦添市文化芸術振興事業

市民音楽祭 プレイベント

～オーケストラ演奏会～

2月25日(土) 開場:午後6時 開演:午後6時30分

浦添市でだこホール 大ホール

大人/1,000円 小人(高校生以下)/500円

指揮:大勝秀也(大阪カレッジオペラ正指揮者)
佐渡山安信(中城ジュニアオーケストラ常任指揮者)

出演:浦添市民音楽祭プレイベントオーケストラ(プロ・アマチュア合同)、浦添市ジュニア吹奏楽団&ジュニアストリングス合同オーケストラ

演奏曲目:交響曲第5番「運命」、喜歌劇「天国と地獄」、組曲 惑星より「木星」など

問い合わせ:文化課 ☎876-1234(内線6212)

平成23年度浦添市文化芸術振興事業「浦添市教育の日」関連事業

浦添市小中学生音楽祭

2月25日(土) 開場:午前9時30分 開演:午前10時

浦添市でだこホール 大ホール(入場無料)

市内小中学校6校と、「公開オーディション」で選抜された児童・生徒たちが日頃の練習の成果を披露します。皆さまのご来場をお待ちしています。

【出場校】神森小、内間小、宮城小、沢岬小、前田小、浦西中
【出演者】公開オーディション最優秀賞・優秀賞受賞者
【ゲスト】浦添小学校金管バンド

問い合わせ:文化課 ☎876-1234(内線6212)